



# 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の活動

3階西病棟看護師 宮本由貴

脳卒中とは、脳の血管がトラブルを起こす病気です。脳卒中には大きく分けて脳出血・脳梗塞・くも膜下出血があります。

厚労省から発表された最新の人口動態統計によると、脳卒中はがん、心疾患に次いで日本人の死亡原因第3位となっており、介護が必要となった原因では第2位となっています。脳卒中による後遺症や障害がきっかけで介護が必要な状況となる場合が多く、日本の医療の中でも問題となっています。

当院では2019年7月に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が誕生しました。

## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割

脳卒中は、後遺症や障害を残す事が多く、それまでの生活に戻る事が困難な事も少なくありません。そのため、発症した直後は病状悪化を予防する看護、状態が安定した後からはその後の生活を考えたリハビリや回復への援助が必要になります。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、脳卒中を起こした患者さんの急性期から回復期、維持期において生活を再構築するまでの管理、セルフケアの能力を高めるための計画的な支援を急性期から行えるよう、活動しています。

## 活動内容

### ◎スタッフに対する指導

脳卒中治療は日々高度化してきており、看護も治療に合わせた実践が必要となります。そのため患者さんやご家族に対し質の高い看護を提供できるよう、スタッフへの指導を行っています。

### ◎早期からの離床

脳卒中は、長期安静による筋力の低下や、脳や内臓の活動低下に繋がる廃用症候群を引き起こす原因にもなります。廃用症候群を防ぐために、医師や理学療法士と協力し、病状が安定した直後から早期離床を目指し、「起きる動作」に注目したベッドサイドでのリハビリを行っています。



自力での座位保持姿勢  
(背面開放座位)を行う  
補助具「シッタン」

### ◎脳卒中の再発予防

脳卒中の“卒”は「突然」の意味で、脳卒中とは「卒然として中(あた)る」という意味です。その名の通り、突然として発症し、機能障害を残してしまう事は患者さんや家族にとって、とてもショックが大きく、今までの生活を変えなければならなくなります。

患者さんや家族の気持ちに寄り添い、共に生活を考えた関わりができるよう日々努めていきたいと思っています。また、生活習慣が大きく関わっているのも脳卒中の特徴です。今までの生活習慣を見直し、改善できるように患者さんや家族と一緒に考えていきたいと思っています。